

東京五輪音頭-2020-

目的・ねらい

東京都オリンピック・パラリンピック教育の推進と「東京五輪音頭-2020-」の普及活動への協力を目的として実施。

取組・活動内容

①実施時期

平成30年度

②参加学校

都立南多摩中等教育学校

③取組・活動内容

- ・成果発表会では、まず、生徒たちが男女別の2グループに分かれ、フォーメーションや移動の仕方を工夫しながら踊った。
- ・5番まである「東京五輪音頭-2020-」の1番から2番までは「ゆうゆう踊り」を、3番から5番までは、「きびきび踊り」または「生徒たちのアレンジを加えた踊り」を披露した。アレンジには、華麗なターンを取り入れるなどして、少し緊張しながらも、みんなで「ヨイショ」と大きな声を出して、笑顔で楽しく踊ることができた。
- ・当日は地元の町会や同窓会の方々が参加した。同校太鼓部のパフォーマンスの披露があり、体育館内に迫力ある太鼓の音が響き渡った。ゲストも参加して、最後は会場が一体となって、太鼓の音に合わせてリズムカルに踊ることができた。

本取組・活動の成果

- 全国で初めて保健体育における授業の題材として「東京五輪音頭-2020-」を取り入れた。
- 「東京五輪音頭-2020-」の一連の授業を通して、参加した生徒からは、「オリンピック・パラリンピックは平和を象徴した大会だと学校の授業で先生に教えてもらった。『ハッピー&ピース』、と平和を祈っているこの振り付け部分が好き。」「盆踊りは、みんなと気持ちを一つにできるいい文化だと思う。楽しかった。」との感想があった。
- 「東京五輪音頭-2020-」を通して、オリンピック・パラリンピックについて関心・理解を深めるとともに、生徒同士で教え、協力し合って練習を行い、いろいろな動きを体験することで、自信をもって踊ることができた。

活動の様子

